

特許 第3083073
第2919403

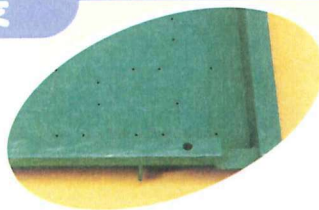
プール育苗箱

新発売



プール育苗箱の特長

- 箱の穴が小さく、アンダーシートを敷く必要がない。



サイドカット

- 播種・覆土終了後の高さは、**サイドカット**が目安となります。
- 加湿育苗時にはサイドカット部分から空気が流入し、育苗箱周辺の出芽がやや早くなります。(育苗終了時にはほぼ平らになる。)
- プールに水を入れる際、サイドカットから水がスムーズに入り、床土量を少なくしても箱が浮きにくい。
- 田植の時の苗は箱下から根が出にくいいため、育苗箱から容易に取り出せる。また、苗下の厚さは従来と同じ3cmになり、機械適性は問題ありません。



プール育苗の 主な特長

- かん水の手間がほとんど掛からない。(4~5日に1回、水道の蛇口の開閉だけ)
- 水による保温効果が期待でき、低温障害が出にくい。(5℃以上の場合はハウスのサイドビニールを夜間も開放できる。)
- 籾枯細菌病や苗立枯病が発生しにくい。
- 床土量は、1~1.2kgまで少なくできる。
- 液肥等の流入施用により省力的な追肥ができる。

規格寸法

外寸：607×307×35.5 (mm)

内寸：582×281×30 (mm)

水穴：φ1.5 (mm)・197穴

材料：ポリプロピレン

色：グレー・グリーン・イエロー